

(政務活動費用)

(様式1)

## 出張報告書

平成30年5月22日

鉏路市議会議長 渡辺 慶藏 様

会派名 市政進クラブ

代表者名 松永 征明



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	鶴間 秀典
出張先	東京都荒川区
期間	平成30年 5月14日 ~ 平成30年 5月15日 (2日間)
用務	全国若手市議会議員の会 研修会参加
調査(研修)結果等の概要	別途記載
備考	

- 注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。
- 2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

# 市政進クラブ（鶴間単独）

## 平成30年5月関東視察レポート

日程：5月14日（月）～15日（火）

視察先：東京都荒川区

視察者：鶴間秀典

5月14日（月）

14：30～15：30 「特別区全国連携プロジェクト」

講師：矢代由紀子 全国連携担当課長兼広報課長

場所：日暮里サニーホール 4F

全国若手市議会議員の会の研修会が荒川区で開催され、参加させていただきました。

内容としては、特別区全国連携プロジェクト、という、東京23区が連携して、全国の地方自治体と広域連携協定などを結び、地域再生法に基づく、地域再生計画を共同で策定し、お互いの元気づくりや課題解決へつなげる、というものでした。

この取り組みの中で、荒川区と北海道くしろ地域との連携モデルが紹介され、日暮里マルシェと連携した味覚市や、区役所地下食堂において地域の食材を使ったメニューを提供している民民連携の事例、教育旅行の誘致などの説明を受けました。私も予算上で知っていましたが、こういう仕組みの中で進められていたのか、と改めて認識しました。

今後はこの取組みがさらに進化し、東京一極集中と地方の過疎化というお互いが抱える課題をマッチングさせ、人が地方に流れる仕組みに発展していけば、と感じました。



全国若手市議会議員の会 奥村会長



全国連携を担当する矢代課長

5月15日（水）

10：00～11：00 「荒川区の防災対策 ～隅田川河川を活用した永久水利施設～」

講師：能見和哉 防災特区・水利担当課長兼再開発担当課長

場所：あらかわ遊園スポーツハウス 会議室

都市の消防車が入れない地域に隅田川から消火用の水路を引き、消火栓や防火水槽に繋いで、永久水利としていました。我々の住む町は、消防車も簡単に火点に近づけますし、河川や消火栓も多い。そういう点では恵まれていますね。



説明いただいた荒川区職員のお二人



京成電鉄高架下保育園

11:00~12:00

「荒川区の防災対策 ～中学校防災部(ジャパンレジリエンス大賞 2016 グランプリ)～」

講師：瀬下清 指導室長

場所：あらかわ遊園スポーツハウス 会議室

荒川区の中学校は10校、生徒数3,234人で、その中で防災部員は444人おり、年々増加傾向にあります。この取り組みは町内会なども一緒に開催され、この子どもたちに将来的に町内会や消防団に入ってもらい、地域の担い手となっていただこうと考えているそうです。釜石中学校などに視察派遣で行って来たり、防災会議を開催したり、年末夜回り、町内会避難訓練への参加、なおの取組をしています。防災だけでなく様々な地域のボランティア活動に取り組んだことが、ジャパン・レジリエンス・アワード2016グランプリ受賞につながっており、子どもたちが生き生きと活動する姿が伝わってきました。この取組みを地域でも取り入れられるよう、頑張りたいと思います。

13:00~14:30

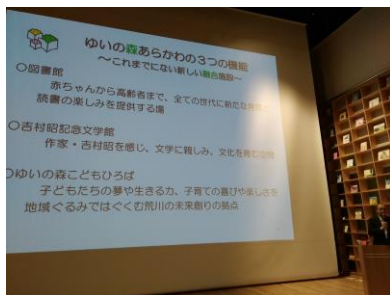
「京成電鉄高架下保育園」

講師：柴田健 保育調整担当課長

場所：ゆいの森あらかわ ゆいの森ホール

京成電鉄の高架下の空間を利用して、保育園がありました。国の子育て対策の一環で、現在急速に増えているそうです。㎡単価が約12,000円で京成電鉄が建物を建てて社会福祉法人に賃貸しているそうです。区は国からの保育所補助金と区の負担分の他には支出しておらず、保育料も地方の保育所と同じで、特別な料金は父母からは徴収していないそうです。ちなみに土地と建物の賃貸料も都市部へは国からの補助金が高く設定されており、まかなえてしまうそうです。

子どもたちは、かなり大きな電車の音を聞きながらすやすや寝ていましたが、やっぱり地方のほうが環境がいい。地方にそのお金回してくれれば、もっといい保育と子育て人口のバランスが取れるのに、と考えてしまいました。



ゆいの森あらかわ



幸せリーグ に釧路市も加盟してた！

14:40~16:10

「ゆいの森あらかわ」

講師：小林弘幸 ゆいの森課長

場所：ゆいの森あらかわ ゆいの森ホール

図書館と文学館、こどもひろばが一体となった、ゆいの森あらかわ、を視察させていただきました。総工費約90億円、内国の補助金9億円、維持管理費約4億円。なかなかのまねできない予算ですが、これだけ利用されている施設であれば効果は高いです。図書館部分は議会の後押しもあり、区の直営で運営されているそうです。担当課も作られており、区長の思いが伝わってきます。中は落ち着いたおしゃれな雰囲気、細部まで気を使った作りとなっており、多くの人が利用して活気がありました。

いい複合施設だからといっておいそれと提案できる規模ではありませんが、市長が思いをかけ、市民とともに作る施設はいいものですね。